



MECENAT

AWARDS

2003

メセナ大賞 2003

Association for Corporate Support of the Arts
社団法人 企業メセナ協議会



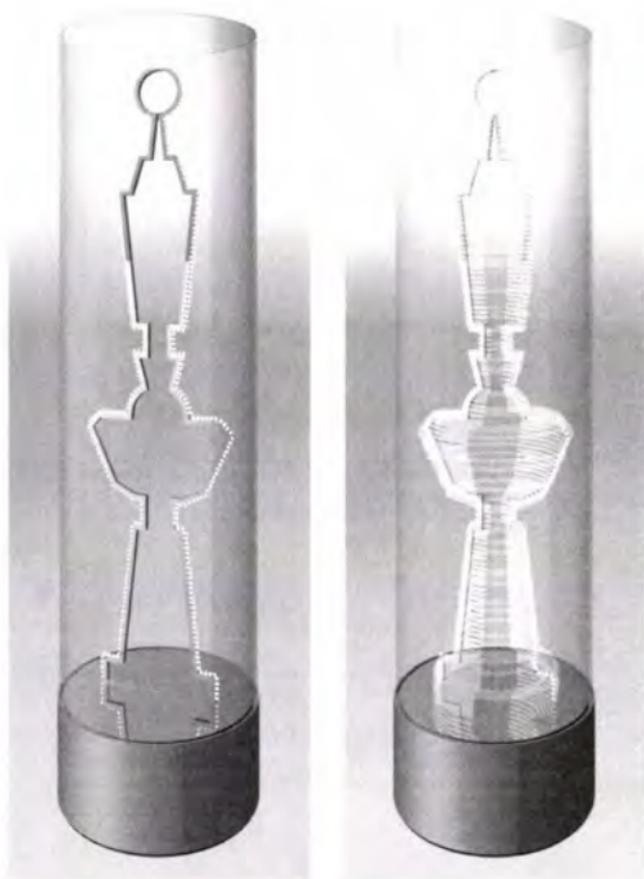
メセナ大賞 2003

「メセナ大賞」は、企業によるメセナ活動の充実と本活動への関心を高めることを目的として1991年に創設されました。

日本に所在する企業および企業財団によって2002年4月以降におこなわれたメセナ活動のなかから芸術文化の振興に貢献した活動を表彰いたします。大賞以外の賞の名称については、それぞれの活動の評価ポイントを反映させて審査委員会にて考案、決定いたしました。

MECENAT AWARDS 2003

受賞企業には、表彰状とトロフィーを贈呈します。



光のトロフィー

● ステンレス、LED、アクリル、ポリエステル樹脂、モーター 他
35×φ12.5cm

受賞者がトロフィーを手にするとLEDが発光しながら回転し、
光の残像現象によりトロフィーの形が現れる。

トロフィー制作

篠田 太郎 (しのだ・たろう)

1964年、東京生まれ。造園家、グラフィックデザイナーを経て95年より美術作家として活動。科学や哲学のアイデアを独自の解釈でアートに展開している。

制作コンセプト ●50年前、電子の構造が明らかになったとき、世間は「なんの役にたつのか？」と問いました。応用科学と違って基礎科学はロングタームで物事を考えるので、すぐに実用に役立つものではない。しかし後世の人類にとって莫大な価値を生む——これは宇宙科学研究所の川博士の話ですが、文化にもあてはまる考え方のような気がします。企業のメセナ活動は、遠い将来に必ず利益をもたらすことにつながると信じます。今回のトロフィーは、時空間の基準となる〈光〉をテーマにしました。これはメセナが、文化の基礎を発展させる光となることを願うものです。

※トロフィーの制作者は、東京オペラシティアートギャラリーの堀元彰氏に協力いただき、指名コンペティションを実施して選びました。

ごあいさつ

「メセナ大賞2003」の受賞活動8つを決定いたしました。受賞される企業ならびに企業財団の皆様、誠におめでとうございます。

本賞は、優れたメセナ活動により芸術文化の振興に高く貢献された企業・財団に対して、その功績をたたえ、活動のいっそうの充実を祈念してお贈りするものです。1991年の創設から本年度13回目を数え、今回で100件を超える活動を表彰させていただくことになりました。ご応募ならびにご推薦をいただきました皆様に、厚く御礼申し上げます。

本年も全国から多数の活動をお寄せいただきましたが、年を追うごとにメセナが着実に根付き、広がりを見せていることを実感しております。応募案件はあらゆる分野におよび、活動の形態も多岐にわたって、いずれも各社の創意工夫が感じられるものばかりでした。企業にとっては決して順風とはいえない経済状況において、日々活動を推進しておられる各社のご努力に心から敬意を表します。そして、数多くの優れた案件のなかから限られた数の受賞活動を選ぶ労をいとわず、真摯な議論を尽くしていただきました審査委員の皆様にも御礼を申し上げます。

このたび受賞される8つの活動は、今日の芸術文化環境のなかで果たされた実績を特に評価しておりますが、さらに活動を継続・発展されますことを期待しております。

また、今回より新たに「文化庁長官賞」が創設されました。企業メセナに対する期待の大きさを受け止めるとともに、官民のパートナーシップの絆をより深めてまいりたいと願っております。今後とも、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社団法人 企業メセナ協議会
会長・理事長 福原義春

審査委員

池上 惇(いけがみ・じゅん)

京都橋女子大学文化政策学専攻科長、同文化政策学部長、京都大学名誉教授。経済学博士。文化経済学会元会長、日本財政学会顧問。研究領域・固有価値と創造都市。主著に「文化経済学のスズメ」、「生活の芸術化—ラスキン・モリスと現代」、「情報社会の文化経済学」、「現代のまちづくり(共著)」(91~2000年、丸善)。「財政思想史」(99年、有斐閣)。「文化と固有価値の経済学」(2003年、岩波書店)。その他多数。

柏木 博(かしわぎ・ひろし)

デザイン評論家、武蔵野美術大学教授。思想理論を基盤として、インダストリアル・デザインから都市・テクノロジー批評などを幅広く論じる。大学では近代デザイン史を指導。著書に、「デザインの20世紀」(92年)、「ユートピアの夢」(93年)、「家事の政治学」(95年)、「芸術の複製技術時代」(96年)、「モダンデザイン批判」(2002年)ほか。

南條史生(なんじょう・ふみお)

森美術館副館長。国際交流基金、ICA ナゴヤ ディレクター、ナンジョウアンドアソシエイツを経て現職。「ベニスビエンナーレ」日本館(97年)、「台北ビエンナーレ」(98年)、「横浜トリエンナーレ2001」をはじめ国内外で数多くの展覧会を手がける。自治体や企業による公募展、アーティスト・イン・レジデンスなどの審査委員も歴任。国際美術評論家連盟(AICA)副会長、国際美術館会議(CIAMM)評議員。

松岡和子(まつおか・かずこ)

演劇評論家、翻訳家。日本シェイクスピア協会会員、国際演劇評論家協会会員。95年、第2回湯浅芳子賞(海外戯曲翻訳部門)受賞。著書に「すべての季節のシェイクスピア」(93年)、「快読シェイクスピア」(99年)。現在、シェイクスピアの全戯曲を翻訳刊行中。既刊は「ハムレット」「マクベス」など14作品。

三善 晃(みよし・あきら)

作曲家、東京文化会館館長。桐朋学園大学学長を経て95年より現職。毎日音楽賞、NHK作曲賞、モービル賞など多数受賞。89年に日本芸術院賞を、96年にはフランス政府より文芸オフィシエ賞を受勲。2000年にオペラ「遠い帆」でサントリー音楽賞受賞。日本芸術院会員、文化功労者。合唱と管弦楽のための「レクイエム」「詩篇」「響紋」の三部作をはじめ、作品はあらゆるジャンルにわたる。

森まゆみ(もり・まゆみ)

作家、谷根千工房主宰。出版社で企画・編集に従事した後、フリーに。84年に地域雑誌「谷中・根津・千駄木」(通称「谷根千」)を創刊、愛読者を集める。「四外の坂」で97年度芸術選奨文部大臣新人賞受賞。92年、サントリー地域文化賞。99年、日本建築学会文化賞受賞。ほかに「小さな雑誌で町づくり」(91年)。「かしこ一葉」(96年)など著書多数。

渡辺 裕(わたなべ・ひろし)

東京大学大学院助教授、美学芸術学を教える。玉川大学助教授、大阪大学助教授を経て96年より現職。著書「聡察の誕生」(89年)にてサントリー学芸賞、「日本文化モダン・ラブソティ」(02年)にて文部科学大臣新人賞受賞。ほかに「文化史のなかのマーラー」(90年)、「音楽機械劇場」(97年)。「宝塚歌劇の変容と日本近代」(99年)などがある。

福原義春(ふきはら・よしはる)

(株)資生堂名誉会長。(社)企業メセナ協議会会長・理事長。企業の社会貢献、文化へのパトロンシップに関心が高く、現職のほかに東京都写真美術館館長も務める。フランスよりレジオン・ドヌール(グラン・トフィシエ章)受章。主な著書に「企業は文化のパトロンとなり得るか」(90年)、「文化資本の経営」(99年)、「メセナの動き メセナの心」(2000年)。

(敬称略・50音順)

選考経過

「メセナ大賞2003」は、本年3月上旬より募集を開始し、5月末で応募を締め切りました。案件の募集にあたっては、自らの活動を応募いただく自薦方法とあわせて、芸術関係者の方々などから、優れたメセナ活動をおこなっている企業や企業財団を推薦いただく方法を採用。また今回より、すでに受賞した活動でも、受賞後5年が経過したものについては応募の対象としました。その結果、26件の推薦を含む計131件(113団体)のご応募を全国よりお寄せいただきました。これらの応募案件について、協議会会員の担当者からなる大賞部会で約4ヶ月にわたる調査・取材をおこない、9月下旬の審査会にはかりました。

本年より新たな審査委員を迎えておこなわれた審査会では、まず、選考基準をどこに置くかということについて議論がなされました。アーティストや芸術団体に与えた影響力、鑑賞者の拡大といった芸術文化の普及・向上に対する貢献とともに、各企業がどれくらい主体的かつ独自の方法で活動にかかわっているかが重要との見解で一致。また、活動の継続性を重視する一方で、今後の発展性や革新性にも着目した選考となりました。二度にわたる会議の末、受賞活動8つを選び、そのなかから大賞を決定、残る7つの活動については、それぞれ特に評価された点を賞の名前に反映させて考案しています。

大賞を受賞された財団法人常陽藝文センターは、多彩な事業により地域文化の振興に努めてこられ、地道な活動に賛同する多くの友の会会員を有します。近年、全国各地で、地域固有の文化の発掘と紹介、それによる地域の活性化をめざす取り組みが展開されていますが、同センターの長年にわたる実績はその好例に挙げられるでしょう。また、助成・顕彰事業における先駆的な仕組みづくりや、独自の経営資源を活かした支援活動にも注目が集まり、今後のメセナのあり方にヒントをもたらすものとして評価されました。

今回は前年度を上回る応募件数となり、新規の活動も多数寄せられました。惜しくも受賞にはいたらなかったものの優れた活動が多くあり、今後の展開を大いに期待したいと思います。

社団法人 企業メセナ協議会
大賞部会

メセナ大賞2003 受賞活動

受賞者

- | | | |
|---------|---|-----|
| メセナ大賞 |  財団法人常陽藝文センター | p06 |
| | 郷土の芸術・文化の発掘と普及
—— 20年目の挑戦 | |
| 地域文化賞 |  株式会社松明堂書店 | p08 |
| | 松明堂ギャラリー・音楽ホールの活動 | |
| 舞台芸術牽引賞 |  財団法人セゾン文化財団 | p10 |
| | 現代演劇・舞踊への助成 | |
| 芸術環境創出賞 |  財団法人ポーラ美術振興財団 | p12 |
| | 美術分野における助成事業と
美術館事業の展開 | |
| 新領域開拓賞 |  トヨタ自動車株式会社 | p14 |
| | 「トヨタコレオグラフィアワード」の実施 | |
| 新世代支援賞 |  ホルベイン工業株式会社 | p16 |
| | 第17回「ホルベイン・スカラシップ」の実施 | |
| 児童文化貢献賞 |  株式会社ジャパンエナジー | p18 |
| | 「JOMO童話賞」の実施 | |
| 継続の力賞 |  出光興産株式会社 | p20 |
| | 「題名のない音楽会」の継続提供 | |
| 文化庁長官賞 |  財団法人常陽藝文センター | p22 |
| | 「藝文友の会」を通じた常陽銀行の社員、
家族に対する文化芸術に親しむ機会の提供 | |

メセナ大賞



常陽藝文センター 1階のギャラリー

財団法人常陽藝文センター

郷土の芸術・文化の発掘と普及 —— 20年目の挑戦

財団法人常陽藝文センターは、1982年、常陽銀行の創立50周年記念事業の一環として設立された。当時、頭取であった青鹿明司氏（現・財団会長）の「芸術文化活動の核になる施設をつくり、県民の皆さんに奉仕したい」との理念に基づくものであり、翌83年には水戸市に常陽第百郷土会館を開館して、多彩な事業を展開している。

1階の藝文ギャラリーでは、郷土ゆかりの美術作家の個展を年8回開催。2階の教室では、社会人の学習の場として「藝文学苑」を開講、一般教養・文学・創作など90講座100クラスを設けており、年間の受講者は6,200人余を数える。7階には302席のホールがあり、年数回のコンサートを開催するほか、一般の発表会にも貸し出す。ほかにも4階アリーナや3階会議室は、さまざまな催しや集会に利用されている。

同センターの友の会会員は、茨城県内に約4万7,000人を有する。会員サービスとして、県内各地の公共ホールでコンサートを開催したり、移動教室や企画旅行をおこなうほか、毎月発行の機関誌「常

陽藝文』を配布。毎回、茨城の歴史・文化・風土を掘り下げる特集を組んでおり、郷土文化を紹介する冊子として高い評価を受けている。すでに通巻246号を超え、発行部数は年間66万5,000部にのぼる。さらにVTR事業としても、県内の伝統行事や歴史的遺産、郷土作家を取り上げるなど、これまでに106本のビデオを自主制作している。

95年には、地域の金融と貨幣の歴史を紹介する常陽史料館を開設。常設展・企画展をおこなうとともに、史料ライブラリーを設け、郷土史料を中心に約2万5,000冊の蔵書を公開している。これらの事業を運営するために、学芸員、司書などの有資格者を含む総勢37名のスタッフを配置、長年にわたる真摯な取り組みで地域文化の振興に貢献してきた。



評価ポイント 地域に根ざした多岐にわたる活動は、地域文化振興のモデルケースとなる。友の会会員をはじめ地域住民に活動の場を広く提供している。

財団プロフィール (2003年3月現在)		※[]内は常陽銀行のデータ	
財団所在地	茨城県水戸市	基本財産	5億円 [資本金: 851億1,300万円]
業種	財団 [銀行]	職員数	37人 [3,766人]
創立年	1982年 [1935年]	URL	http://www.joyonet.co.jp/~geibun/

地域文化賞



株式会社松明堂書店

松明堂ギャラリー・音楽ホールの活動

1966年に東京・小平市たかの台駅前商店街に店を構えた松明堂書店は、87年の改装の際、地階に約40m²の多目的スペースを開設した。社長はじめ社員がおもしろいと思う美術や写真の展覧会を自主企画していくうちに、音楽やパフォーマンス、映画上映会など、多岐にわたる分野のアーティストが集う場となり、アーティストと地域住民、アーティスト同士の自然な交流が続いている。これまでの約15年間で手掛けた自主企画は350件を超え、それらを通じた広いネットワークが形成されている。

松明堂書店の社長・松本昭氏は、活気ある店づくりが地域づくりに発展していくことを望んでおり、文化活動の拠点が人々の出会いの場となることをめざしているという。その影響か、商店街の喫茶店でも作品を展示したり、近隣にギャラリーができるなどの動きも出てきた。買い物途中の地元の人たちが、気軽にアートに出会える環境が生まれてきている。

97年には、新所沢駅近くのビル地階に「松明堂音楽ホール」を

開設。これを機に、たかの台のスペースを「松明堂ギャラリー」と称して、それぞれ美術と音楽の分野に特化した活動を展開するようになる。ギャラリー、音楽ホールとも専従のスタッフを擁し、独自の催しだけでなく連携した企画もおこなっている。

松明堂音楽ホールは、ヨーロッパの古楽器や民族楽器を楽しむ場として設計された最大100名収容の小ホール。木の長椅子が並ぶ空間は、染布やブロンズなど多彩な作品に囲まれ、フレンチスタイルのチェンバロとグランドピアノが置かれている。こうした贅沢な空間で、国内外から演奏家を招いたコンサートを年6回ペースで開催するほか、コンサートや練習にも貸し出し、新たなファンも増えてきた。今後さらに、アーティストや地域住民の交流の輪が広がることを期待したい。



評価ポイント アーティストや地域住民の自然な交流の場ができている。活動が段階的に発展し、個性的な空間と企画でファンを集めている。

企業プロフィール（2003年3月現在）

本社所在地	東京都小平市	基本金	1,000万円
業種	書籍販売	従業員数	7人
創立年	1966年	URL	http://shomeido.jp/

舞台芸術牽引賞



遠藤康行ワークショップ発表会(森下スタジオ)

財団法人セゾン文化財団

現代演劇・舞踊への助成

セゾン文化財団は、現代演劇・舞踊への助成事業をおこなうことを目的に、1987年、堤清二氏の出捐により設立。以来、**1**次代を担うアーティストの創造活動に対する長期的な支援、**2**資金助成のみでない複合的な支援、**3**芸術活動を支えるインフラストラクチャーの整備・改善への取り組み、の3方針にもとづいて多様なプログラムを展開してきた。

助成事業の中核である「芸術創造活動」プログラムは、演劇・舞踊団体の創造活動に対して3年間継続して助成をおこなうもので、92年にスタート。これは当時、ハード優先の文化行政や企業による冠公演、単発的なサポートが主流であったことから、より中長期的なスタンスに立った創造への支援を志したものである。

同プログラムでは、ひとつの団体につき年間300～500万円を3年間にわたり支給。再応募も認め、最長6年間の継続的な助成をおこなってきた。これまで対象となった団体は26件あり、いずれも、今日の演劇・ダンスシーンの中核的な存在として国内外に活躍の場

を広げている。

同時に芸術活動を支えるインフラ整備にも努めており、「創造環境整備活動」プログラムとして、アーツマネジメントの留学・研修や調査研究などにも助成をおこなってきた。国際交流の促進についても、日本の現代演劇・舞踊に関する会議やシンポジウム、翻訳出版への助成、国内外での共同創造事業などへの支援をおこなっている。

94年には、江東区に「森下スタジオ」を開設。助成先を中心に稽古やワークショップの場として貸与するほか、各種セミナーなど情報交流の場として活用している。2000年からは、外部団体との共催事業である「シーズンシアタープログラム」を開始、他企業との若手振付家育成プログラムや、公共ホールとの舞台技術者養成講座を実施するなど、総合的な取り組みを展開している。



評価ポイント 助成事業とともに場を提供するなど、複合的な支援がおこなわれている。演劇・舞踊団体の創造面を支え、リードしてきた功績は大きい。

財団プロフィール（2003年3月現在）

財団所在地	東京都中央区	正味財産	101億9,838万円
創立年	1987年	職員数	7人
		URL	http://www.saison.or.jp/



ポーラ美術館

財団法人ポーラ美術振興財団

美術分野における助成事業と美術館事業の展開

ポーラ美術振興財団は、1996年5月、当時のポーラグループの総帥、故・鈴木常司氏の出捐により設立された。当初より、美術分野における助成事業をおこなうとともに、2002年9月には箱根にポーラ美術館を開館して、その運営にあっている。

助成事業は、**1**若手美術家の在外研修、**2**美術館職員の調査研究、**3**美術に関する国際交流の3分野を対象としている。若手美術家の在外研修助成は、一人あたり340万円を上限に毎年18名程度を選出。美術家の海外派遣に対する支援そのものが他にあまりないため、多数の応募が寄せられる。学芸員の調査研究、ならびに国際交流プログラムについては、1件あたり200万円を上限にそれぞれ12件程度を助成しており、毎年の助成総額は約1億円におよぶ。

一方の美術館事業については、鈴木常司氏が40数年にわたり収集してきた美術作品を公開したいとの構想を具現化したものである。自然に恵まれた場所で、ゆったりと美術に触れてもらいたいとの思いから、箱根・仙石原の地を選定。「箱根の自然と美術の共生」

をコンセプトに、建物は木々の間に隠れるように設計し、敷地内には新たにブナやヒメシャラを植樹するなど、周囲の環境に最大限の配慮がなされている。

美術館の開設にともない、鈴木常司氏からは個人コレクションがすべて寄贈され、ポーラ企業所蔵の作品も寄託された。総数9,500点を超えるコレクションのうち化粧道具の類が6,000点余を占めるが、特に西洋近代洋画のコレクションに評価が高く、モネ、ルノワールなどの19世紀フランス印象派絵画をはじめ、ポスト印象派やエコール・ド・パリの画家たち、ピカソ、カンディンスキーら20世紀絵画までが中核をなす。同館では、これら所蔵作品による企画展を年3回開催しており、多くの来館者を集めている。

(財) ポーラ美術振興財団 平成15年度 助成金贈呈式



評価ポイント 若手美術家や学芸員など人材育成の環境づくりに取り組んでいる 豊かな自然のなかで美術と出会う場を創出している。

財団プロフィール (2002年3月末現在)

財団所在地	東京都品川区	正味財産	136億円
創立年	1996年	職員数	16人
		URL	http://www.pola-art-foundation.jp/

新領域開拓賞



2003年アワード受賞 黒田育世 振付「SIDE B」 © 鈴木紳司

トヨタ自動車株式会社

「トヨタコレオグラフィーアワード」の実施

「トヨタコレオグラフィーアワード」は、次代を担う振付家の発掘およびそれを取り巻く環境の活性化を目的に、トヨタ自動車と世田谷パブリックシアターの提携事業として2001年に創設された。ダンス支援に積極的に取り組む同社の担当者が、よりアーティストのステップアップにつながる仕組みをつくりたいと発案、それまでの経験と人脈を活かして実現したものである。

同アワードでは、年齢やジャンルを問わず、自らの振付作品を発表した経験のある人を対象に、作品を収録したビデオテープを公募する。2001年、2002年とも200件を超える応募があり、そのなかから7人の選考委員により8名の振付家を選出。選ばれた振付家は最終審査会となる「ネクステージ」で30分以内の作品を上演し、舞踊家・天児牛大氏を委員長とする4人の審査委員により、「次代を担う振付家賞」が1名に贈られる。

選考委員には各地のホール関係者やプロデューサーを起用し、審査委員は欧米のダンス界で活躍するディレクターに依頼。これも、

このアワードをきっかけとして活躍の場を広げてほしいとの意図による。

「ネクステージ(=nextage)」とは、「ネクスト・エイジ」と「ネクスト・ステージ」を掛け合わせた造語で、実際の舞台は世田谷パブリックシアター内のシアタートラム(225席)である。受賞者には、次年度、シアタートラムにおける新作または受賞作品の発表の場が提供されるとともに、その作品制作費の一部として100万円が授与される。

2日間にわたる最終審査会は一般に公開され、本賞のほかに、観客の投票による「オーディエンス賞」で2名の振付家が選出される。自分の好きな振付家を選べるというアワードへの参加意識も手伝って、両日のチケットは発売早々に完売するなどダンスファンの注目を集めている。



評価ポイント 新しい才能の発掘と紹介、ステップアップの仕組みが築かれている。長年にわたるダンス支援の経験と人脈が活かされている。

企業プロフィール(2003年3月現在)

本社所在地	愛知県豊田市	資本金	3,970億円
業種	自動車製造業	従業員数	65,551人
創立年	1937年	URL	http://www.toyota.co.jp/mecenat/

新世代支援賞



「アクリラート別冊」と募集要項

ホルベイン工業株式会社

第17回「ホルベイン・スカラシップ」の実施

「ホルベイン・スカラシップ」は、同社の画材を1年間、若手アーティストもしくは美術家をめざす人に無償提供するもので、1986年にスタートした。

当初は、油絵の具にくらべて歴史の浅いアクリル絵の具の幅広い活用による可能性を広げたいとの目的で、100名に10万円分のアクリル絵の具を支給していた。だが、次第にアーティスト支援の側面が強くなり、第10回からは、ホルベインの全製品について50万円相当を、奨学者として選んだ20名の希望に応じて提供している。

毎年6～9月の募集期間には、300～350名ほどの応募が寄せられる。若手アーティストの支援を目指すことから、20～45歳までという年齢制限はあるが、絵の具を使うのであれば絵画に限らず立体作品でもよい。作品の写真と活動プロフィール等をもとに、専門家からなる選考委員会で奨学者20名を決定。11月から翌年10月までの1年間がスカラシップ期間となる。油彩、アクリル、水彩絵の具、パステルといった色材をはじめ、ホルベインの全製品が対象であり、

奨学者はそれぞれがほしい製品を選ぶことができる。また素材や技術面での問い合わせに対しても、同社の技術スタッフがアドバイスするなど、彼らの制作活動を全社的にバックアップしている。

また、奨学者の作品とレポートをまとめた『アクリラート別冊』を3,000部発行。全国の美術館や画廊、美術大学など関係者に幅広く無料配布してアーティストの紹介に努める。さらに、スカラシップが修了した後の活動についても、引き続き技術的な相談に応じたり、美術館でのワークショップなどに画材提供をおこなうなどの支援をしている。

2002年までに17回を数える「ホルベイン・スカラシップ」の奨学者は延べ858名におよび、現在の美術界で活躍するアーティストも多い。



評価ポイント 自社製品や技術力を活かして多くの若手アーティストを支えてきた。スカラシップ修了後に冊子を発行するなど、アフターケアがある。

企業プロフィール (2003年3月現在)

本社所在地	大阪府東大阪市	資本金	8,000万円
業種	製造業	従業員数	130人
創立年	1946年	URL	http://www.holbein-works.co.jp/

児童文化貢献賞



株式会社ジャパンエナジー

「JOMO童話賞」の実施

「JOMO童話賞」は、1969年*、アンデルセン童話などを一冊の本にまとめて顧客に配布したことがきっかけで始まった。翌年から創作童話を一般公募し、受賞作品を絵本『童話の花束』として発行。数ある童話コンテストのなかでも最古のもので、2002年で33回目を数える。

創作童話のテーマは「心のふれあい」。未発表の作品で2,000字以内とし、一人2編まで応募を受け付ける。国内のみならず海外在住の人からも応募があり、2002年度は、一般の部：8,967編、児童の部（小学生以下）：564編、あわせて9,531編の作品が寄せられた。この応募件数についても、他の童話コンテストを大きく上回る。

選考委員会は西本鶏介氏（児童文学者）、立原えりか氏（童話作家）、岸田今日子氏（俳優）ら5名の審査員に、ジャパンエナジーの社員が加わる。最終選考会で一般の部：23編、児童の部：10編の受賞作品を決定し、最優秀賞・優秀賞・佳作作品については『童話の花束』に収録。11月の授賞式で発表する。

作品集『童話の花束』は、毎年28万冊を刊行。そのうち約1万冊は、全国の福祉施設や母子家庭に贈呈。あとは一冊100円として、全国JOMO会(特約店の全国組織)、全国LPガスJOMO会(LPガス特約店の全国組織)を通じて買い上げてもらい、売上金を「JOMO童話基金」に組み入れている。JOMO童話基金は、JOMOグループで92年に共同設立したもので、売上金約2,000万円はすべて全国社会福祉協議会に寄付して、児童福祉に役立てている。社内にも作品集を買い上げる人があり、社員からの寄付は毎年20万円ほどとなる。

一般の人々の童話の創作活動を応援するだけでなく、作品集の贈呈やJOMO童話基金による寄付をおこなうなど、社会貢献としても意義深い取り組みがなされている。

*当時は共同石油



評価ポイント 長年にわたり、童話創作に励む多くの人たちの作品を紹介してきた。寄付の仕組みが工夫されており、幅広い活動で児童文化に貢献している。

企業プロフィール(2003年10月1日現在)

本社所在地	東京都港区	資本金	200億円
業種	石油	従業員数	2,700人
創立年	2003年 [創業1905年]	URL	http://www.j-energy.co.jp/hanataba/



出光興産株式会社

「題名のない音楽会」の継続提供

毎週日曜日の朝9時から放映されるテレビ番組「題名のない音楽会」は、1964年、出光興産の単独スポンサーとしてスタートした。当初より、国内のオーケストラ起用を軸に、日本の作曲家や指揮者、演奏家らを積極的に紹介してきた。

「高尚なクラシック音楽をお茶の間に」わかりやすく伝える一方で、邦楽、民族音楽、さらには映画音楽、ポップスなど多岐にわたるユニークな企画が好評を得て、2004年には40年の節目を迎える。すでにテレビ朝日の長寿番組として定着し、オンエア数は通算約1,900回を数えた。

番組の開始当初より、多くの方にライブで音楽を楽しんでもらえるよう、公開収録形式を採用。現在は主に都内の音楽専用ホールで、毎回約1,500人の視聴者を招待しており、これまでの参加者累計は100万人を超える。また、出光興産の製油所など事業所が立地する地方への出張公演も実施。その際には、地域に伝承される音楽の紹介や、地元出身のアーティストを起用するなど、上質かつ親しみ

やすいコンサートを全国に届けている。

1990年には、番組25周年を記念して「出光音楽賞」を創設。これはクラシック音楽を中心に、今後が期待される若手音楽家の支援を目的とした顕彰事業である。原則30歳以下の音楽家を音楽関係者から推薦してもらい、5名の選考委員により「意欲・素質・将来性」を鑑みて選出。受賞者には奨学金300万円を贈呈するほか、番組内でガラ・コンサートを紹介するなど、活動の幅を広げる機会を提供しているのも大きな特徴である。これまでに55人の受賞者を輩出してきた。

初期からの司会者であった黛敏郎氏の逝去後も、番組の精神は引き継がれ、2001年からは4代目の司会者として羽田健太郎氏を迎えた。今後さらなる新機軸を打ち出し、長寿番組に新たな息吹がもたらされることを期待している。



評価ポイント ユニークな番組内容で、音楽ファンを増やした功績は大きい。番組提供と新進音楽家の顕彰事業がうまく連動している。

企業プロフィール (2003年3月現在)

本社所在地	東京都千代田区	資本金	388億円
業種	石油	従業員数	3,306人
創立年	1911年	URL	1. http://www.idemitsu.co.jp/kaisya/index_kouken.html 2. http://www.tv-asahi.co.jp/daimeii/

文化庁長官賞 [新設]



「藝文友の会」会員向けの企画旅行

財団法人常陽藝文センター

「藝文友の会」を通じた常陽銀行の社員、家族に対する文化芸術に親しむ機会の提供

本年より新たに「文化庁長官賞」が創設された。

本賞は企業の社員やその家族の文化芸術活動への参加や鑑賞を奨励し支援する取り組みであり、かつ社会全般にも影響を与えることが期待できる活動に対して授与される。本年は、「メセナ大賞2003」に応募のあった案件のうちから選定されたが、来年からは、本格的にこの趣旨で公募をおこない、選考する予定である。

初の贈賞となる今回は、財団法人常陽藝文センターによる標記の活動が対象となった。同センターでは約4万7,000人の「藝文友の会」を組織し、会員を対象としたコンサートや移動教室などをおこなっている。これに常陽銀行の職員・家族・OB約4,000人が参加。同行の職員数が約3,700人であることから、非常に高い割合で社員やその家族に文化芸術活動への参加機会を提供している点が評価された。

- 財団法人常陽藝文センターは「メセナ大賞」を受賞。
活動の詳細はP6を参照されたい。

メセナ大賞2003 応募一覧

アイエヌジー生命保険(株) 「愛と夢の童話コンテスト」	東京都
(財)愛銀教育文化財団 教育・文化活動に対する助成ならびに援助活動	愛知県
アコム(株) バリアフリーコンサート「`みる`コンサート物語」	東京都
(株)朝日新聞社 「國華DVD-ROM全2巻」	東京都
(財)アサヒビール芸術文化財団 「音楽キャラバン」の実施 ほか1件	東京都
天野実業(株) ほか9社 新作能「鞆のむろの木」初演会・イベント「能写真と遊書展」	広島県
アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc. アメリカン・エクスプレス・チャリティー・コンサート「押尾コータロー in 神能殿」	東京都
イセ文化基金 2002ハッピーイースター卵遊びコンテスト	東京都
出光興産(株) 「題名のない音楽会」の継続提供	東京都
(株)イトーヨーカ堂 小さな童話大賞	東京都
伊那食品工業(株) かんでんばばホールの運営と活動	長野県
(株)INAX INAXギャラリーを中心とした文化活動	愛知県
(株)伊予銀行 伊予銀行地域文化活動助成制度	愛媛県
岩谷産業(株) 「ふるさとルネッサンス」-N響との事業協力による文化活動 ほか1件	大阪府
(株)ウッドワン ウッドワン美術館	広島県
エクソンモービル(有) エクソンモービル児童文化賞・音楽賞	東京都
エステー化学(株) エステー化学ドリームミュージカル	東京都
NECソフト(株) 「武生国際音楽祭」への協力・協賛 ほか	東京都
王子製紙(株) 王子ホールの運営	東京都
大関(株) ザイラーピアノデュオ「大関座布団コンサート」	兵庫県
オープン化粧品(株) 吹田市文化会館の事業、全国文化のみえるまちづくり政策研究フォーラム開催への支援	大阪府

(株)KAI PROJECT WEBサイト「ISHIKAWA STYLES」の開設	石川県
(株)かずさアカデミアパーク かずさアカデミアパークにおける文化活動の展開	千葉県
(有)カドヤ 高島華育大正ロマン館 美術館活動支援	愛媛県
カネボウ(株) 読売・日本テレビ「ウーマンズ・ビート」大賞カネボウスベシャル21	東京都
関西電力(株) かんでんコラボ・アート21 (ほか2件)	大阪府
(株)北川鉄工所 キタガワアザレアコンサートの活動	広島県
(株)岐阜文芸社 無償出版活動	岐阜県
キリンビール(株) 市民・大学・企業の協同文化事業「取手アートプロジェクト」への参加	東京都
近畿労働金庫 「エイブル・アート近畿2002」の実施	大阪府
(株)けいはんな および 協賛企業・団体各社 けいはんなプラザ・ブチコンサートの開催	京都府
小出四交会 パッハに捧げる二夜	新潟県
(株)講談社 「本とあそぼう 全国訪問おはなし隊」の活動	東京都
コスモ石油(株) コスモ子ども地球塾「子どものための自然アートワークショップ」	東京都
(財)佐川美術館 佐川美術館の運営	京都府
三協フロンテア(株) フロンテア・ニューイヤーコンサート	千葉県
(株)産経新聞社 米中枢同時テロ一周忌 追悼ろうそく能	東京都
三洋信販(株) 三洋信販クラシックコンサート～海の譜(うた)～	福岡県
(株)シアター・ドラマシティ 劇場運営を通じての演劇文化育成活動	大阪府
(株)ジェイティービー 社の販い	東京都
(株)ジャパンエナジー 「JOMO童話賞」の実施	東京都
(株)商船三井 にっぽん丸ギャラリー	東京都
(株)松明堂書店 松明堂ギャラリー・音楽ホールの活動	東京都
(財)常陽藝文センター 郷土の芸術・文化の発掘と普及—— 20年目の挑戦	茨城県

真生印刷(株) 花と緑で世界を結ぶ 児童・生徒絵画コンクールの実施	大阪府
(財)新日鐵文化財団 紀尾井ホールにおける主催公演開催、顕彰等の文化支援	東京都
住友商事(株) ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラの活動支援	東京都
住友生命保険(相) 「全国縦断チャリティコンサート」の実施 ほか1件	大阪府
(株)住友倉庫 海岸通ギャラリー・CASOの運営	大阪府
セイコーエプソン(株) サイトウ・キネン・フェスティバル松本への支援 ほか1件	長野県
星和電機(株) 芸術文化活動に対する援助	京都府
(財)美術育成財団 雪梁舎 雪梁舎の運営・企画制作、フィレンツェ賞の実施	新潟県
(財)セゾン文化財団 現代演劇・舞踊への助成	東京都
(財)宗桂会 加賀象嵌・金工を対象とした助成・普及活動	石川県
ソニーグループ 「絆」トータル・エクスペリエンスー五嶋みどりヴァイオリン」サイタル	東京都
第一生命保険(相) 第一生命ホールへの支援	東京都
(財)大同生命国際文化基金 翻訳出版事業(アジアの現代文芸、ジャパニーズ・ミラース)	大阪府
(株)高島屋 公益信託タカシマヤ文化基金「タカシマヤ美術賞」の助成活動	大阪府
高松建設(株) ランチタイム・ミニ・コンサートの開催	大阪府
(株)千葉銀行 ちばざんひまわりコンサート ほか1件	千葉県
(財)中信美術奨励基金 「京都美術文化賞」の贈呈ほか	京都府
中部日本放送(株) CBCクラブの活動と運営支援	愛知県
TOA(株) トライやるウィークコンサート・鳥っ子音楽隊 ほか2件	兵庫県
田苑栗源酒造(株) 田苑酒蔵サロンコンサートの開催	鹿児島県
東京オビニオンズ 東京オビニオンズフェスティバルの実施	東京都
東京ガス(株) 「土と炎のワンダーランド〜第36回 小・中学生陶芸コンクール」の実施	東京都
東京ガス都市開発(株) 「パークタワー・ネクストダンス・フェスティバル」を中心としたダンス支援活動	東京都

(財)東芝国際交流財団 博物館・美術館向けの「母国語による解説書・案内書」事業	東京都
東濃信用金庫 美濃陶芸作品永年保存事業	岐阜県
東レ(株) 「デジタルクリエイションアワーズ」の実施	東京都
(株)十勝毎日新聞社 とかち国際現代アート展「デメーテル」	北海道
(株)トナカイ 特定非営利活動法人NPOサロンオペラ・トナカイへの支援	東京都
トヨタ自動車(株) 「トヨタコレオグラフィーアワード」の実施 ほか3件	愛知県
(株)虎屋 展示を中心とした虎屋文庫の活動	東京都
永谷商事(株) 永谷お江戸演芸場	東京都
(株)ナニワ商会 STUDIO EARKA企画運営、情報誌eARKA編集発行	大阪府
(株)新潟放送 日本文化の発祥の地の一つ京都の相国寺・金閣寺・銀閣寺の3寺院の秘宝展	新潟県
日産自動車(株) NPOとのパートナーシップによる未来の人材育成プログラム-日産NPOラーニング奨学金制度	東京都
ニッセイ同和損害保険(株) ザ・フェニックスホールの運営	大阪府
日本出版販売(株) 書店での読み聞かせ会「おはなしマラソン」の実施	東京都
日本電気(株) コミュニティとのパートナーシップによるコンサートシリーズ ほか1件	東京都
日本生命保険(相) 40年にわたる日生劇場の運営と「ニッセイ名作劇場」の開催	大阪府
日本たばこ産業(株) JTアートホールアフィニスの企画・運営	東京都
日本マクドナルド(株) 「マクドナルドスペシャルナイト」の開催	東京都
日本ユニシス(株) ヴァイオリンリサイタルでの視覚障害者サポートのボランティア活動	東京都
(株)ノリタケカンパニーリミテド 「ノリタケの森」の開設と運営	愛知県
バイオニア(株) 身体で聴こう音楽会	東京都
(株)バンナ アート村プロジェクト	東京都
(株)バルコ ギャラリー(ミュージアム)の運営	東京都
(財)ひろしん文化財団 日本画展の開催	広島県

(株)福岡シティ銀行 「博多に強くなろう」「北九州に強くなろう」シリーズの発行	福岡県
(社)福岡青年会議所 ボランティアしてねっと ボランティアしてねっと九州	福岡県
(財)福岡文化財団 プロムナードコンサート ほか1件	福岡県
(株)フジカワ画廊 美術館への出品協力、内外の若手作家の発表の場としてのfujikawagallery/nextの運営	大阪府
富士ゼロックス(株) 15年の版画コレクションと収蔵品、カタログ発刊および常設展示場の開設	東京都
(株)ベネッセコーポレーション 直島・家プロジェクトの企画・制作・運営	岡山県
(財)ホーラ美術振興財団 美術分野における助成事業と美術館事業の展開	東京都
北海道放送(株) HBCジュニアオーケストラとHBC少年少女合唱団の活動	北海道
ホルベイン工業(株) 第17回「ホルベイン・スカラシップ」の実施	大阪府
(株)毎日新聞社 ほか1社 江戸開府400年国際交流チャリティ「時を越える“和”」	東京都
前田道路(株) 「ゴジラの時代」展への支援	東京都
松下電器産業(株) 日本伝統工芸に対する支援 ほか1件	大阪府
マルホ(株) 全国俳誌ダイジェスト「俳壇抄」の発行	大阪府
(株)ミスミ 「We Love Painting ミスミコレクションによるアメリカ現代美術」展	東京都
三井住友海上火災保険(株) しらかわホール チャリティコンサート	東京都
三井物産(株) 青少年邦楽教育プログラム 和楽器体験ワークショップ	東京都
(株)三越 三越劇場の開設と運営 ほか1件	東京都
(財)三菱信託芸術文化財団 音楽芸術の演奏活動に対する助成	東京都
三菱地所(株) 三菱地所のSHALL WEコンサートの開催 ほか1件	東京都
(株)南日本放送 MBCユースオーケストラへの支援	鹿児島県
(株)メニコン メニオの運営 ほか1件	愛知県
ヤマト運輸(株) 音楽宅急便「おしゃべり好きなコンサート」	東京都
(株)ワコールアートセンター ランデヴープロジェクト	京都府

これまでの受賞企業

2002

- メセナ大賞  **朝日放送(株)**
ザ・シンフォニーホールの運営と事業活動
- 企業文化賞  **鹿島建設(株)**
「KAJIMA彫刻コンクール」の実施
- 企画賞  **麒麟ビール(株)**
「麒麟ダンスサポート」創設に結びついた体系的な現代舞踊支援
- 情報発信賞  **東陶機器(株)[TOTO]**
ギャラリー・間の活動
- 奨励賞  **凸版印刷(株)**
コンサートホール「トッパンホール」の運営
- 地域文化賞  **(株)飛騨庭石**
祭屋台の制作および「飛騨高山まつりの森」の運営
- 育成賞  **(株)リクルート**
クリエイションギャラリー G8とガーディアン・ガーデンの運営

2001

- メセナ大賞  **安田火災海上保険(株)**
安田火災人形劇場「ひまわりホール」の活動
- 国際交流賞  **(財)アサヒビール芸術文化財団**
芸術系外国人留学生への支援・交流活動
- 企業文化賞  **(株)INAX**
「世界のタイル博物館」等の運営ならびに陶芸作家への支援
- 人材育成賞  **花王(株)**
美術館連絡協議会への支援
- アイデア賞  **カスミグループ**
「くわたしの企画」応援します!」の実施
- 地域文化賞  **(株)駒形どぜう**
「江戸文化道場」等の開催
- バリアフリー賞  **トヨタ自動車(株)**
「トヨタ・エイブルアート・フォーラム」の実施
- まちづくり賞  **(社)浜松青年会議所**
浜松交響楽団の設立と運営

*企業・団体名ならびに活動名は受賞時点での表記に準ずる

2000

- メセナ大賞  **第一生命保険(相)**
VOCA展の開催
- 育成賞  **(財)アフィニス文化財団**
日本のプロオーケストラへの支援活動
- 新人育成賞  **沖縄電力(株)**
おきでんシュガーホール新人演奏会オーディションの実施
- 創造賞  **キヤノン(株)**
キヤノン写真新世紀の実施
- 地域賞  **(株)神戸酒心館**
神戸酒心館ホールの運営
- 組織支援賞  **三洋電機(株)**
大阪シンフォニカーへの支援活動
- 企業理念賞  **日産自動車(株)**
“子どもの想像力育成”に投資するメセナ活動
- 振興賞  **日本電気(株)**
NEC EARLY MUSIC SERIESの実施

1999

- メセナ大賞  **(株)東急文化村**
複合文化施設Bunkamuraの運営
- メセナ育成賞  **野村證券(株)、松下電器産業(株)、日本航空(株)、トヨタ自動車(株)**
パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)への協賛
- メセナ企画賞  **フィリップ モリス(株)**
フィリップ モリス アートアワードの実施
- メセナ国際賞  **安田火災海上保険(株)**
ゴッホ美術館新館の建築支援
- メセナ奨励賞  **今井書店グループ**
読書と出版文化発展のための支援活動
- メセナ地域賞  **住友生命保険(相)**
いずみホールの運営
- メセナ普及賞  **カルビー(株)ほか後援会加盟社**
能楽研究・公演団体「橋の会」の支援

これまでの受賞企業

1998

- メセナ大賞  **朝倉不動産(株)**
代官山ヒルサイドテラスにおける文化活動
- メセナ育成賞  **大川創業(株)**
関西フィルハーモニー管弦楽団への支援活動
- メセナ企画賞  **九州電力(株)**
若手工芸家の国内外派遣制度
- メセナ国際賞  **(株)ベネッセコーポレーション**
直島文化村ベネッセハウスの運営
- メセナ奨励賞  **(株)両国シティコア**
シアターXの運営
- メセナ地域賞  **(財)たましん地域文化財団**
多摩地域における文化活動
- メセナ普及賞  **麒麟ビール(株)**
麒麟プラザ大阪の運営

1997

- メセナ大賞  **主婦の友グループ**
カザルスホールの運営
- メセナ育成賞  **東京ガス都市開発(株)**
パークタワー・アートプログラム ダンスシリーズの実施
- メセナ企画賞  **松下電器産業(株)**
阪神アートプロジェクトへの支援
- メセナ国際賞  **在日ダイムラー・ベンツグループ**
ダイムラー・ベンツグループ アートスコープ ガス・ニュージャパニーズ・アート・スカラシップの実施
- メセナ奨励賞  **(株)ローザ**
斎藤記念川口現代美術館の運営
- メセナ地域賞  **(株)みちのく銀行**
ドキュメンタリー映画「サワダ SAWADA」の制作
- メセナ普及賞  **六花亭製菓(株)**
十勝に根ざした芸術文化活動

1996

- メセナ大賞  **アサヒビール(株)**
ロビーコンサートを中心とする社会に開かれた未来文化創造型メセナ活動
- 審査委員特別賞  **キャノン(株)**
「アートラボ」の企画・運営
- メセナ育成賞  **(株)毎日新聞社**
「第54回日本音楽コンクール」(主催 毎日新聞社・日本放送協会)の開催と長年にわたる同コンクールの運営
- メセナ企画賞  **(株)ヨークベニマル**
絶版になった地域歴史書の復刻・発刊事業
- メセナ国際賞  **凸版印刷(株)**
「欧米のポスター100」復刻事業
- メセナ奨励賞  **(株)海文堂書店**
「アート・エイド・神戸(阪神大震災文化復興)」の実施
- メセナ地域賞  **(財)八十二文化財団**
心の豊かさを求めて～八十二文化財団10年のあゆみ～
- メセナ普及賞  **大日本印刷(株)**
「ギンザ・グラフィック・ギャラリー」10周年企画の実施

1995

- メセナ大賞  **TOA(株)**
シーバックホールを中心として行っている音文化啓蒙活動
- 審査委員特別賞  **(財)京都服飾文化研究財団**
「モードのジャポニズム～キモノから生まれたゆとりの美～」展の開催など
- メセナ育成賞  **(株)パルコ**
「URBANART(アーバナート)」の開催
- メセナ企画賞  **三菱広報委員会**
国際識字年記念・三菱IMPRESSION-GALLERY～アジア子供アート・フェスティバル～の実施
- メセナ国際賞  **(財)大同生命国際文化基金**
「アジアの現代文芸」プログラムの翻訳出版
- メセナ奨励賞  **広島信用金庫**
「ひろしま平和能楽祭」「青少年のための能楽鑑賞教室」の開催
- メセナ地域賞  **稚内信用金庫**
稚内市での札幌交響楽団定期公演の全面的支援など
- メセナ普及賞  **(財)三井海上文化財団**
地域住民のためのコンサートの共同主催

これまでの受賞企業

1994

- メセナ大賞  **サントリー(株)**
サントリーホールでの運営と活動
- 審査委員特別賞  **(株)タダノ**
イースター島モアイ像修復活動
- メセナ育成賞  **(株)東急文化村**
シアターコクーン戯曲賞の運営
- メセナ企画賞  **三和酒類(株)**
美術・文学・建築等を含む文化科学研究・出版活動
- メセナ国際賞  **(財)日航財団**
世界こどもハイク(俳句)コンテストの運営
- メセナ奨励賞  **(株)あさば旅館涵翠閣**
「修善寺芸術紀行」の実施
- メセナ地域賞  **カトーレック(株)**
四国民家博物館の運営
- メセナ普及賞  **(財)日本生命財団**
「博物館総合案内」書の出版

1993

- メセナ大賞  **セゾングループ**
セゾン美術館の運営
- メセナ特別賞  **(財)トヨタ財団**
「隣人をよく知ろう」プログラムの実施
-  **フィリップ モリス(株)**
日本美術修復計画への支援
-  **(株)南日本放送**
MBCユースオーケストラの運営
- メセナ賞  **大阪ガスグループ**
扇町ミュージアムスクエアの運営
-  **(財)東芝国際交流財団**
国内外の美術館、博物館などへの助成
-  **日本生命保険相互会社**
30年にわたるニッセイ名作劇場の協賛と日生劇場の運営
-  **松下電器産業(株)**
グローブ座への支援
-  **(財)ローム ミュージック ファンデーション**
音楽文化振興活動

1992

- メセナ大賞  **(株) すかいらーく**
(財)東京交響楽団の演奏活動支援
- メセナ特別賞  **(財) 末永文化振興財団**
末永文化センターの運営
-  **びあ(株)**
PFF '91 (びあフィルムフェスティバル)の開催
-  **(財) ポーラ伝統文化振興財団**
わが国の伝統文化の保存、伝承、普及、振興に関するメセナ活動
- メセナ賞  **(株) 紀伊國屋書店**
紀伊國屋ホールの運営
-  **シャチハタグループ**
ジャパン・アート・スカラシップの協賛
-  **セゾングループ**
MUSIC TODAY '91の開催
-  **日本アイ・ビー・エム(株)**
IBMウェルフェア・コンサートの開催
-  **(株) 紅三**
ベニサン・スタジオ、ベニサン・ピットの運営

1991

- メセナ大賞  **林原グループ**
国際芸術・文化振興奨学金制度の創設ほか
- メセナ特別賞  **(株) INAX**
建築、現代美術等の展覧会開催、出版ほか
-  **コニカ(株)**
大英博物館日本ギャラリーの設立資金援助ほか
-  **新日本製鐵(株)**
35年にわたる新日鉄コンサートの開催、音楽賞の創設
- メセナ賞  **岩谷産業(株)**
ふるさと交響楽シリーズなどのN響への協賛
-  **オムロン(株)**
クレアティヴィタリアの特別協賛ほか
-  **セイコーエプソン(株)**
サイトウ・キネン・オーケストラの欧州公演協賛
-  **トヨタ自動車(株)**
アマチュアオーケストラの支援活動
-  **モービル石油(株)**
モービル・ライブ・サウンズの提供

(社)企業メセナ協議会会員

正会員

- アート アソシエイツ ジャパン(有)
(株)I&S/BBDO
あいおい損害保険(株)
(株)秋村組
朝倉不動産(株)
(株)アサツー ディ・ケイ
(株)朝日広告社
(株)朝日新聞社
アサヒビール(株)
朝日放送(株)
(株)アセット婦人画報社
味の素(株)
アプライドテクノロジー(株)
一帆会・昭和電工グループ
(株)イトーヨーカ堂
(株)INAX
エクソンモービル(有)
(株)エフエム東京
エルメス・ジャポン(株)
王子製紙(株)
大阪ガス(株)
オムロン(株)
(株)オンワード檜山
花王(株)
鹿島建設(株)
(株)カスミ
カトーレック(株)
カネボウ(株)
関西電力(株)
キッコーマン(株)
キヤノン(株)
九州電力(株)
(株)求龍堂
京セラ(株)
キリンビール(株)
(株)クレディセゾン
(株)講談社
(株)光文社
コスモ石油(株)
(株)産業経済新聞社
サントリー(株)
三洋電機(株)
三和酒類(株)
ジー・アイアール・コーポレーション(株)
(株)ジェイティービー
(株)資生堂
清水建設(株)
(株)集英社
(株)主婦と生活社
(株)主婦の友社
(株)小学館
松竹(株)
(株)新潮社
新日本製鐵(株)
住友生命保険(相)
- セイコーエプソン(株)
(株)西友
(株)世界文化社
積水化学工業(株)
(株)セゾン情報システムズ
全国朝日放送(株)
セントラル警備保障(株)
(株)増進会出版社
ソニー(株)
(株)損害保険ジャパン
第一生命保険(相)
(株)大広
大正製薬(株)
大同生命保険(株)
大日本印刷(株)
タイムラー・クライスラー日本ホールディング(株)
(株)ダイヤモンド社
大和証券SMBC(株)
武田薬品工業(株)
(株)竹中工務店
中部ガス(株)
TOA(株)
TBS(株)東京放送
(株)テレビ東京
(株)電通
東急建設(株)
東京ガス(株)
東京急行電鉄(株)
東京テアトル(株)
東京電力(株)
(株)東京ドーム
(株)東京三菱銀行
(株)十勝毎日新聞社
凸版印刷(株)
トヨタ自動車(株)
(株)トライグループ
西日本旅客鉄道(株)
(株)ニチレイ
日産自動車(株)
ニッセイ同和損害保険(株)
日本興亜損害保険(株)
日本酸素(株)
日本信販(株)
日本電気(株)
(株)ニッポン放送
(株)日本ユニバックホールディング
日本アイ・ビー・エム(株)
(株)日本経済新聞社
日本生命保険(相)
日本たばこ産業(株)
ノボ ノルディスク ファーマ(株)
野村證券(株)
バイオニア(株)
(株)博報堂
(株)パシフィックツアースシステムズ

(社) 林原共済会
(株) パルコ
びあ(株)
東日本電信電話(株)
久光製薬(株)
(株) 日立製作所
フィリップ モリス(株)
富士ゼロックス(株)
(株) フジタ
富士通(株)
(株) フジテレビジョン
(株) 文藝春秋
本田技研工業(株)
(株) 毎日新聞社
(株) マガジンハウス
松下電器産業(株)
みずほインベスターズ証券(株)
(株) みずほフィナンシャルグループ
三井住友海上火災保険(株)
(株) 三井住友銀行
三井物産(株)
三井不動産(株)
(株) 三越
三菱地所(株)
三菱重工業(株)
三菱商事(株)
メルシャン(株)
安田生命保険(相)
(株) 山武
ヤマト運輸(株)
ヤマハ(株)
(株) 吉野工業所
(株) 読売広告社
読売新聞社
(株) リクルート
リシュモン ジャパン(株)
LVグループ(株) ルイ・ヴィトン・ジャパンカンパニー
ローム(株)
(株) ワコール

準会員

(特) アートネットワーク・ジャパン
EU・ジャパン フェスト日本委員会
石川県音楽文化協会
茨城県
オルフェウス室内管弦楽団
(財) 大阪21世紀協会
神奈川県
(社) 企業メセナ群馬
京都商工会議所
京都橘女子大学文化政策研究センター
(財) 京都服飾文化研究財団
慶應義塾大学アート・センター
(株) 劇団影法師
劇団四季
(財) 公益法人協会
(財) 埼玉県芸術文化振興財団
佐賀県企業メセナ協議会
(株) シアターワークショップ
(有) ジャパン・アーツ・リンク
昭和音楽大学
(財) 新国立劇場運営財団
(財) セゾン文化財団
(財) たましん地域文化財団
中央区文化・国際交流振興協会
東海メセナ研究会
東京都生活文化局文化振興部
(財) 東京都歴史文化財団
(株) トナカイ
中札内美術村
(株) ニッセイ基礎研究所
(社) 日本演奏連盟
(社) 日本芸能実演家団体協議会
(財) 日本交通文化協会
(財) 八十二文化財団
(株) ビー・エム・エフ センター
(株) フジカルチャープランニング
藤沢市
(財) 北海道文化財団
(財) 水戸市芸術振興財団
山口市

(2003年6月13日現在・50音順)

(社)企業メセナ協議会の活動紹介

社団法人企業メセナ協議会は、企業による芸術文化支援活動を啓発・奨励し、わが国の芸術文化の向上・発展に寄与することを目的として、1990年に設立されました。企業のメセナ活動が推進される環境を整備すべく、さまざまな活動をおこなっています。

- ◎— **メセナ活動実態調査【わが国の企業メセナ活動の実態を調査】**
企業および企業財団を対象とする調査を毎年実施。
その結果をオンラインデータベース「メセナビ」としてホームページ上で公開するほか、「メセナ白書」として刊行します。
- ◎— **メセナ大賞【優れたメセナ活動を顕彰】**
毎年、全国から自薦・他薦で案件を公募し、特に優れた活動を選んでその功績を称えて表彰します。
- ◎— **セミナー、シンポジウム【幅広い観点から諸問題を分析】**
メセナや芸術文化を取り巻く諸問題をテーマに取り上げ、セミナーやシンポジウムを随時開催しています。
- ◎— **機関誌【メセナや芸術文化活動の最新情報を掲載】**
企業メセナや文化行政、アートマネジメントなど幅広い情報を盛り込んだニュースレター「メセナnote」を隔月で発行しています。
- ◎— **助成認定【芸術文化活動への支援を税制面から促進】**
当協議会は、文化庁より特定公益増進法人の認可を受けて、芸術文化活動への民間寄付を促進する制度を設けています。企業や個人が協議会経由で寄付をすれば、税制上の優遇措置を受けられます。
- ◎— **メセナ・コーディネート【さまざまなプログラムをコーディネート】**
メセナや芸術文化創造のインフラ整備に関する各種プログラムへの企画協力や、講師の派遣などをおこなっています。
- ◎— **国際交流【世界のメセナ組織と交流】**
世界各国の企業メセナ組織との交流に努め、情報交換や国際会議への参加、海外視察団の派遣などをおこなっています。
- ◎— **情報ライブラリー【メセナに関する資料を公開】**
企業メセナに関する書籍や資料を自由にご覧いただけるよう、ライブラリーを設けています(要予約)。

詳しくは協議会のホームページをご覧ください。

<http://www.mecenat.or.jp/>



「メセナ大賞2004」の募集要項は、
2004年3月に発行する予定です。
詳細は企業メセナ協議会事務局まで
お問い合わせください。

メセナ大賞2003の運営ならびに応募案件の調査・取材は、
企業メセナ協議会・大賞部会メンバーがおこないました。

大賞部会

部会長 加藤恒夫 [大日本印刷(株)]
メンバー 高辻ひろみ [(株)資生堂]
市川哲夫 [第一生命保険(相)]
柄田明美 [(株)ニッセイ基礎研究所]
小田原治 [(株)みずほフィナンシャルグループ]
朝子正三 [(株)ワコール]

事務局 出口正之 (専務理事)
角山紘一 (事務局長)
荻原康子
戸沢愛

後援 文化庁

2003年11月27日 発行・社団法人 企業メセナ協議会



Association for Corporate Support of the Arts
社団法人 企業メセナ協議会

100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1

有楽町マリオン13階

Tel. 03-3213-3397

Fax. 03-3215-6222

URL <http://www.mecenat.or.jp/>

E-Mail mecenat@mecenat.or.jp